

平成23年度 市内鉄道駅周辺における 放置自転車等実態調査結果の概要について

本調査は、川崎市内における鉄道駅周辺の自転車等（自転車及び原動機付自転車、自動二輪車）の利用実態を把握するため毎年度実施しており、この度、本年度の調査結果をとりまとめましたので、その概要を報告します。

なお、本年度の調査では昨年度まで実施していた午前9時台の調査に加え、昼間の利用状況を把握するため、午後4時台の調査を追加しました。

【調査概要】

1 調査駅

市内鉄道駅54駅及び矢向駅、鶴川駅

2 調査日時

平成23年6月1日から6月22日までの平日（雨天を除く）
午前9時台、午後4時台

3 調査項目

自転車等駐車場の利用台数と放置自転車等の台数調査

4 調査方法

調査委託により、調査員が各駐輪場ごとに自転車・バイクの駐車台数を調査し、放置台数については、放置禁止区域指定駅周辺地区は駅を中心に半径500メートル、それ以外の駅周辺は300メートルの範囲を調査

【結果概要】

（別紙のとおり）

【結果概要】

1 自転車利用台数の推移 [図 - 1]

(1) 駅周辺の自転車等利用台数は、約71,000台

午前9時台における放置自転車を含めた自転車の利用台数は、全調査駅の合計で、70,966台であり、昨年度と比較すると3,160台(約4.7%)の増加となっています。これは、平成17年度以降で増減を繰り返しながら最も高い増加率となっており、3月の震災により自転車利用が見直されていることも要因の一つと考えられます。

(2) 駅周辺の放置自転車等の台数は、過去最小の約9,500台

午前9時台における放置自転車台数は9,516台であり、昨年度と比較すると229台(約2.3%)の減少となっています。自転車利用台数に対する放置自転車台数の割合は約13%で、過去10年間で最小となっています。

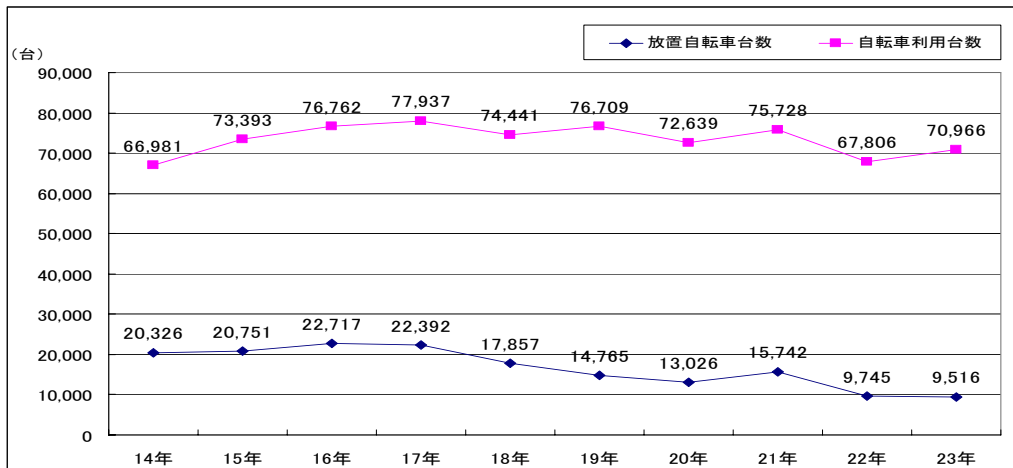


図-1 自転車利用台数の推移 (午前9時台)

2 午前9時台と午後4時台の自転車利用台数の比較 [図 - 2]

(1) 午後4時台の放置自転車等の台数は、約14,400台

本年度より実施した午後4時台の調査では、自転車利用台数が75,276台、放置自転車台数は14,407台となっています。午前9時台と比較すると、自転車利用台数は4,310台(約6%)の増加、放置自転車台数は4,891台(約51%)の増加となっており、ほぼ同等の増加台数となっています。

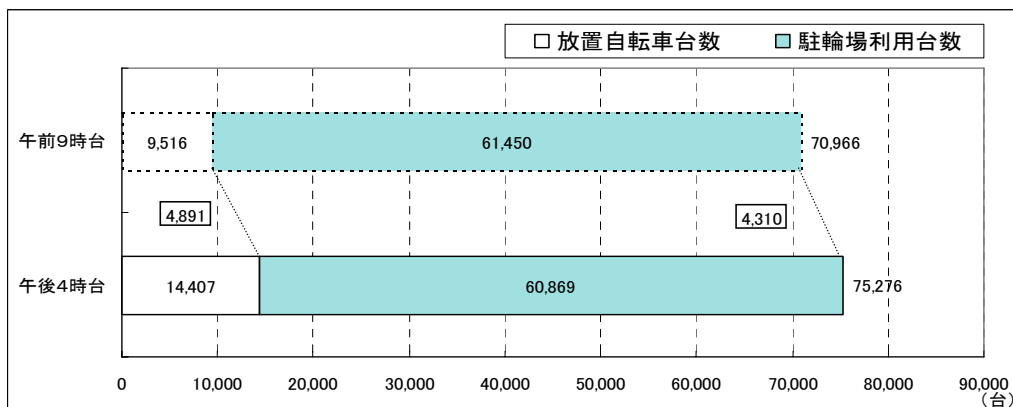


図-2 午前9時台と午後4時台の自転車利用台数の比較

3 自転車等の利用が多い駅

(単位：台)

	駅名	午前9時台 実利用台数	午後4時台 実利用台数
1	J R川崎駅 (東口・西口)	9,327	9,690
2	武蔵溝ノ口駅 (J R・東急)	6,349	7,222
3	武蔵小杉駅 (J R・東急)	6,314	6,771
4	京急川崎駅	3,474	4,021
5	元住吉駅	3,445	3,956

(実利用台数：駐輪場利用台数+放置台数)

4 放置自転車等の多い駅

(1) 午前9時台

(単位：台)

	駅名	平成23年 放置台数	平成22年 放置台数
1	二子新地駅 (※)	816	795
2	武蔵新城駅	787	722
3	川崎大師駅	681	476
4	八丁畷駅	579	439
5	宿河原駅 (※)	573	610

(2) 午後4時台

(単位：台)

	駅名	午後4時台 放置台数	午前9時台 放置台数	増加放置 台数
1	武蔵溝ノ口駅 (J R・東急)	1,300	344	956
2	武蔵新城駅	1,212	787	425
3	京急川崎駅	1,049	402	647
4	元住吉駅	994	572	422
5	二子新地駅 (※)	908	816	92

※ 自転車等放置禁止区域の未指定駅